

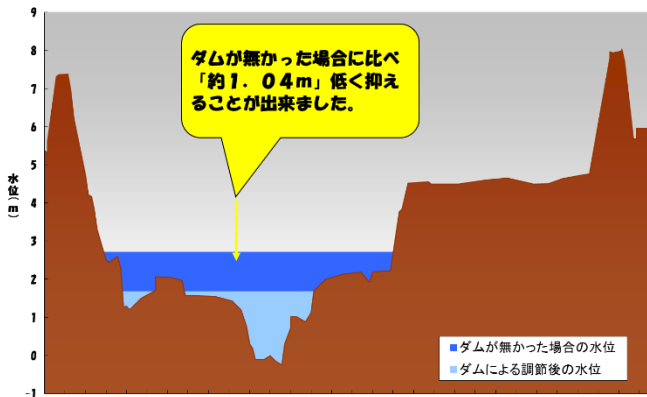
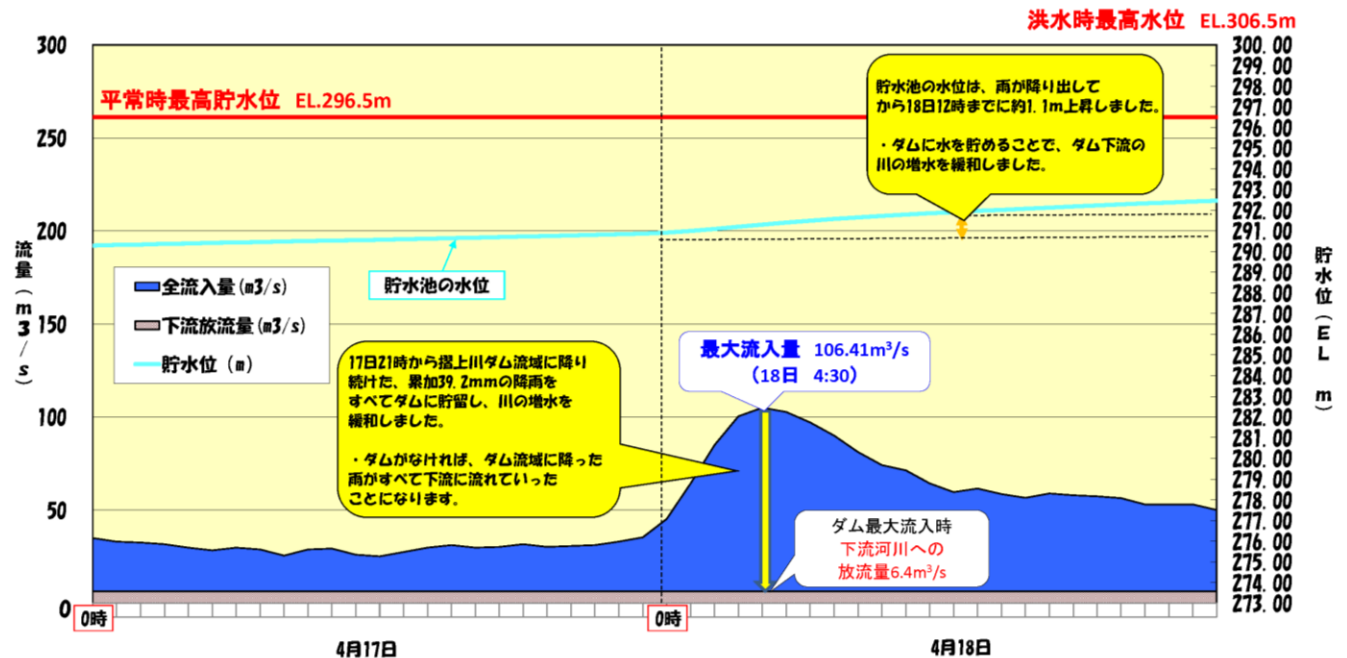
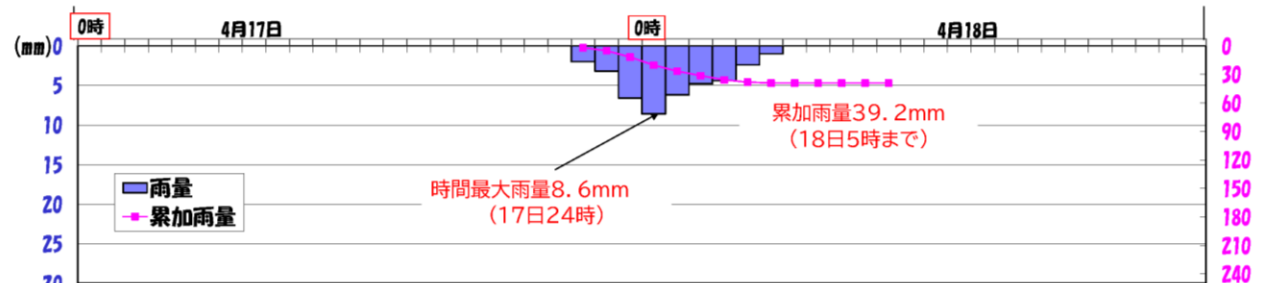
# 阿武隈川水系 摺上川ダムの効果 (平成29年4月17~18日 低気圧)

- 低気圧の影響に伴い摺上川ダム流域は、1時間雨量が最大で約8.6mmとなるなど、4月17日9時頃から18日5時時点までの累加雨量が39.2mmに達し、ダムへの最大流入量は106.41m<sup>3</sup>/sを記録しました。
- 今回の洪水における防災操作では、この摺上川ダム流域に降った大量の降雨をすべて貯留し、貯留量は約87万m<sup>3</sup>(東京ドーム0.7個分)にもなりました。
- ダム下流の瀬ノ上地点(福島市瀬ノ上付近)において、約1.04mの水位を下げる効果があったと推測されます。

## 瀬ノ上地点でのダムの効果(推定)



※数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。



貯水位 (EL) (m)

約1.04m水位を下げる効果があったものと推定されます。